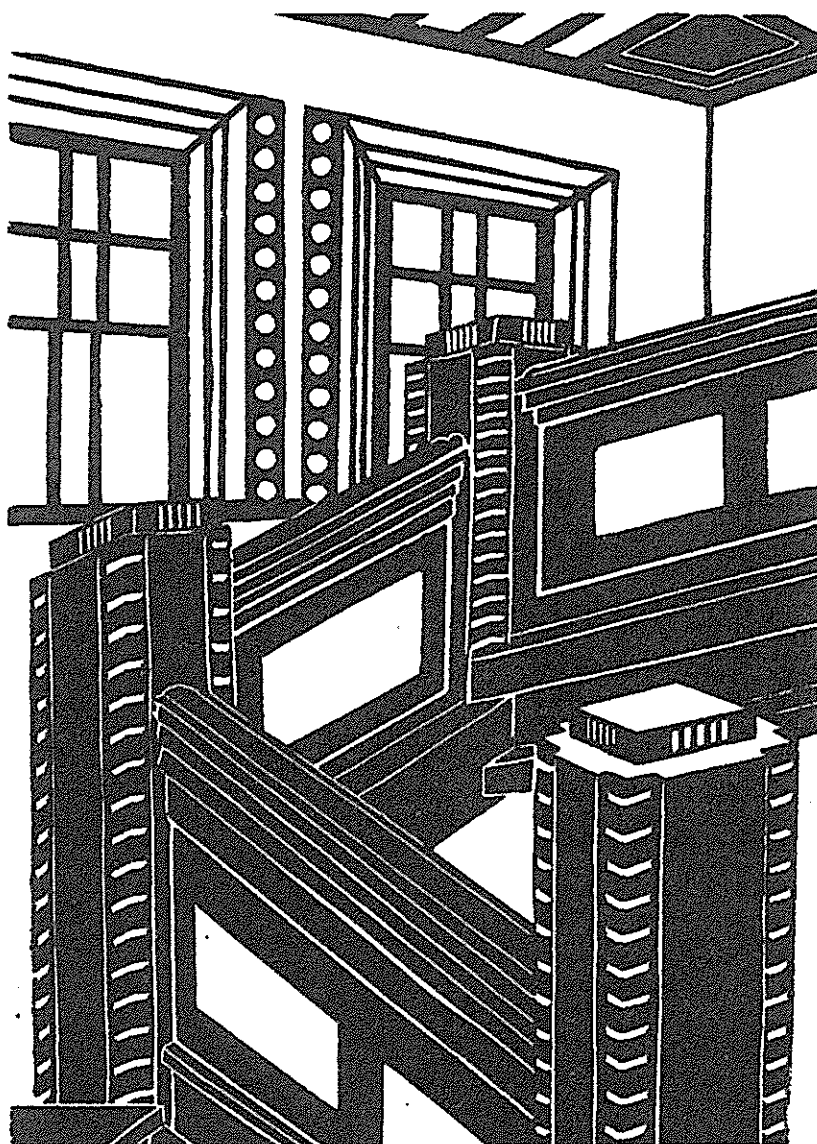


生活創造しんぶん Wa'Wa'Wa'

編集・発行

姫路生活科学センター内 生活創造応援隊



10 姫路高等学校講堂 高野 雅一 作

高野 雅一さんの作品は…

白と黒のコントラストが清潔。

そして、その線の美しさ。

それが学び舎の雰囲気をよく表現されています。

岩田 健三郎

も く じ

- ◇ ゆかた祭奉賛 ゆかた着くずれ直し処 …P2
- ◆ 銀の馬車道をゆく/安富あじさいまつり …P3
- ◇ 昔あそびフェスティバル/ひよこむで出会う …P4
- ◆ 福が咲く町 福崎町 /ファイナルイベント …P5
- ◇ 中播磨キャンドルナイト/いえしま自然体験センター …P6
- ◆ ワンクリック詐欺に気をつけて/富子さんのレシピ …P7
- ◇ 生活創造大学 一前期一受講者募集 …P8

生活創造しんぶん Wa'Wa'Wa' とは…

しんぶんを通して、人の輪 Wa・平和の和 Wa・円 Wa・話 Wa・環 Wa・縁 Wa… 限りない Wa に出会いました。
新たな Wa を学び、Wa を結んで、ステキな Wa を伝えていきます。 (生活創造応援隊 一同)

ゆかた祭奉賛

ゆかた着くずれ直し処

ゆかた祭は、やっぱり！ゆかた姿が主役です。

姫路には「けんか祭り」「お城まつり」「ゆかた祭」があります。けんか祭りは「ザ祭り屋台in姫路」があつて、秋の祭りが春にも楽しめると大好評です。お城まつりは「姫路良さ恋まつり」とつながって、大盛り上がりです。ゆかた祭だけが置いてきぼりになっています。姫路を代表する祭の一つであるにもかかわらず、さみしいことです。

町の有志達の間で、去年より三日間だったものが二日間になってしまったことを契機に、この210年続いているゆかた祭を見直す機運が盛り上がってきています。夕涼みコミュニケーションの場として、この風流で小粋な祭りを「なんとかせんとあかんやろ！」と話し合われる機会が増えています。

ゆかた祭はゆかた姿が美しい祭で、このゆかたを通して祭のあり方を考えるのが本筋だと「NPO法人和装教育国民推進会議姫路支部」は考えました。「ゆかたから和装の良さを学び、和装の良さから古き良き日本の暮らしと知恵を見直す機会にならないだろうか」という提案に至りました。

ゆかた祭により多くの方にゆかたを着て遊びに来てもらいたい。そのためには、より気軽にゆかたが着て出かけられるように「ゆかた着くずれ直し処」を長壁神社周辺の着物屋

さんに協力してもらって、設けることになりました。さらに、自分でゆかたを着てゆかた祭に出かけることが出来るように、「ゆかた着方教室」を開催することにしました。

「ゆかた着方教室」無料 要予約
6月3日・10日（日）午後1時～3時
千石茶屋2F座敷 姫路市立町22
問い合わせ：（電話）（〒730）

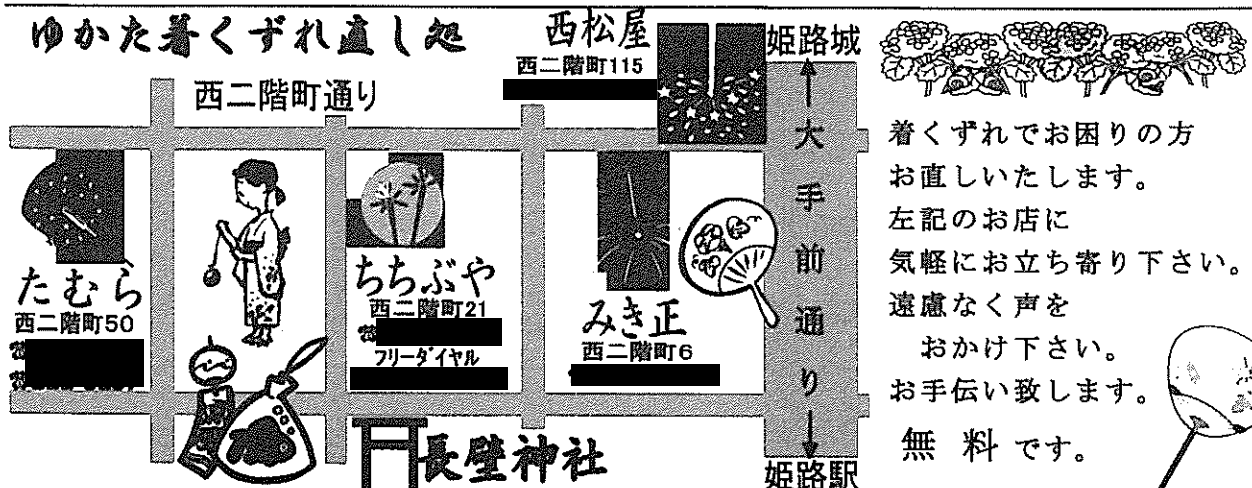
和裁教室も設けました。自分でゆかたを縫って、自分で着て、ゆかた祭や夏祭りに出かけられたら楽しさが倍增することは請け合いです。5月教室は締め切りしましたが、7月教室を計画中です。興味のある方は上記・千石までお問い合わせください。

将来的にはゆかたを自分で染めるところまで考えています。今年は「藍染め体験教室」を用意しました。

「藍染め体験教室」無料 要予約
天然藍を使用した絞り染めに挑戦！
6月の日曜日・午前10時～12時・3名一組。場所：魚橋呉服店姫路市威徳寺町50
問い合わせ：（電話）（〒730）

私は「入院患者と障がい者に笑顔とコンサートを贈る市民の会」の代表をしています。7月に書写養護学校で先生方と「わくわくサタデー、七夕コンサート」を企画しています。今年福祉作業所から姫路の名物を作り出そうという取組みも始めました。アートが福祉事業に果たせる役割を考えるプロデュースをしています。（新人応援隊 小嶋 隆義）

ゆかた着くずれ直し処



～ 銀の馬車道をゆく～

何事につけ忙しすぎる日々、昔はこんなではなかったと思い返す年代です。

日々の生活は時を楽しみ、そして大切にしていこうと思います。失われていく伝統など、いいものを伝え残すこと、そして新しいものに向っていく気持ちを持ち続けたいと思っています。

町や環境にそして健康や福祉に一人ずつの気持ちが大切な輪となり、うねりとなってくれますよう、生活創造応援隊として新しい仲間の方々と一緒に活動が出来る事を楽しみにしております。

日頃はウォーキングを楽しんでいまして、今 中播磨地域で話題になっている『銀の馬車道』を、地図を頼りに歩いてみました。

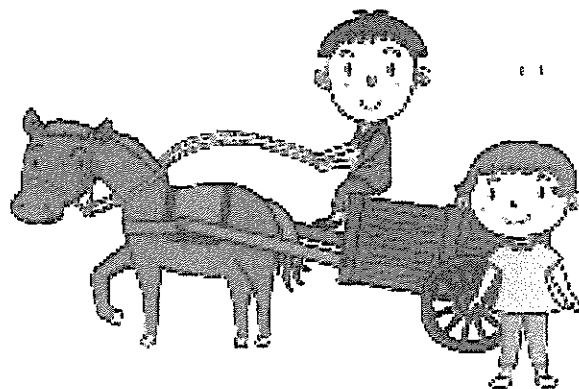
まず、JR 播但線で生野駅に降り立ち、午前10時に銀山前から歩き始め、午後5時前に JR 鶴居駅に到着、**約4万5千歩**のウォーキングでした。次の機会にはJR 鶴居駅から自宅の最寄りの野里駅へ向かって歩きました。

鶴居駅を午前9時半に出発して福崎の街中を少し探索し、午後5時半に到着、**約3万5千歩**でした。

そして最後の挑戦は野里駅より飾磨の津まで**約2万歩**。北から南へ、山から海へ約50Kmの道のり『銀の馬車道』の最終地点です。

今ではそのほとんどが自動車道ですので、古き良き時代を懐かしむ景色や風情を楽しむポイントは少ないですが、路地へ寄り道して思わぬ楽しいことがあったり、名所旧跡に立ち寄りもして歴史にふれることも多々ありました。自分ながらの楽しみを見つけつつ、歩いてみられてはいかがですか！

(新人応援隊 中村 篤子)



姫路市安富町

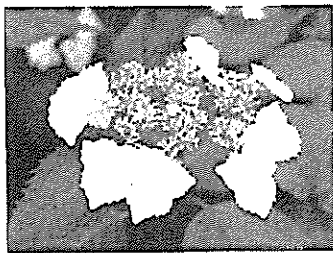
あじさいまつり

昨年3月の合併で姫路市になりました安富町から参加しています。

市からの情報は毎月の広報、自治会内の掲示板のポスター、回覧、HP で得ることが出来ますが、それらは目から入ってくる一方通行なことで、何かその次に広がることに繋がってはいませんでした。

そんな時に「生活創造応援隊」を知りました。私なりに安富町の情報発信などでお手伝いさせていただき、出会いが生まれ、また少しでも関わりを持つことが出来れば嬉しいと思い参加しました。

初めての投稿記事は町を代表する『あじさいまつり』をご紹介します。



あじさいが花開く初夏のひととき、地域連携の輪を広げ、心豊かな地域づくりの推進を目的として、ネスパルやすとみをメインとして開催されます。自然と歴史あふれる安富町のすばらしさを体験していただける良い機会かと思えます。おもてなしのイベントなどもございますので、ご家族と一緒に『笑いとふれあい』のある安富町での楽しいひとときをお過ごしください。

(新人応援隊 上山 和子)

開催日時 平成19年6月24日(日)午前10時～午後3時

場 所 姫路市安富町安志

ネスパルやすとみ、安富事務所前駐車場、あじさい公園

催し内容 書道・絵画などの作品展、演芸大会、健康展、各種協賛行事、写真撮影会

問い合わせ先 あじさいまつり運営委員会 (姫路市安富事務所内)

昔遊びフェスティバル

本年度も引続き応援隊の一員として継続させていただくことになりました。3年目の初レポートは、4月29日(日)「昭和の日」に中播磨青少年本部の主催で開催された『昔遊びフェスティバル』の

参加レポートです。青少年サロンの若者たちが企画・運営の中心的役割を担い頑張っていました。

会場となった 網干の魚吹八幡神社の境内には「ステージエリア」と「テントブースエリア」「遊びの広場」が設営され、若き時代の思い出に浸り、昔懐かしい遊びの数々が披露されていました。

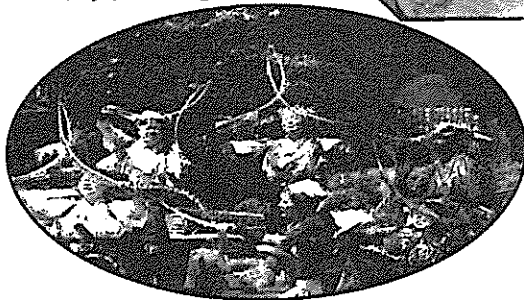
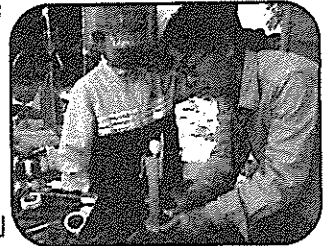
★ステージエリアでは

「That's けん玉ショー！」
「南京玉すだれ」
「童謡コンサート」
「街頭紙芝居」
「ハーモニカライブ」
「マジックショー」



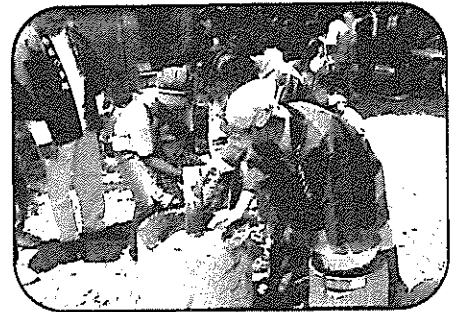
★テントブースエリアでは

「竹とんぼ作り」
「紙トンボ作り」
「コマ回し」
「紙ひこうき遊び」
「はりことカラクリ玩具」



★あそびの広場では

「お餅つき」
「だるまさんがころんだ」
「なわとび」



このイベントは、おじいちゃんおばあちゃん、お父さんお母さんから「昔の遊びの楽しさ」を子どもや孫に伝える良い機会だったのではないのでしょうか？参加して下さった子どもたちの誰もが太陽の下でキラキラと明るく気持ちの良い顔をしていました。兄弟姉妹、友達へと「遊びの輪」を広げてくれる事を願いながら、地域で活動する方々と一体化した楽しく有意義な一日でした。



(応援隊 小林 美波子)

(応援隊 遠入 宏昭)

～ひょこむで出会い～

昨年の秋にインターネットの SNS「ひょこむ」を通じて素晴らしい出会いがありました。西播磨文化会館の生活創造活動コーディネーターの三村園美さんです。漢字一字違いの不思議なご縁でした。その後、姫路生活科学センターの玉田さんとも「ひょこむ」で出会い、初めてお目にかかった時には、はつらつとしたパワーに圧倒され、同年代の女性としての生き方に深く感銘を受け、お二人のような素敵な女性に私もお近づきになりたいと思いました。姫路で応援隊の募集があり、生活創造活動に興味を惹かれましたので参加させていただきました。

生姜醤油で食べるおでんをご当地グルメにできないかという市民活動の中から、全国的に有名になった『姫路おでん』の「姫路おでん探検隊」の一員として、PR 活動にも参加しています。

和菓子、洋菓子も大好きで、来年姫路で開催される『姫路菓子博2008』を楽しみにしています。人との出会いを大切に、楽しみながら「生活創造応援隊」として頑張ります。

皆さん、どうぞ宜しくお願い致します。

(新人応援隊 三村 晴美)



※ ひょこむは、兵庫県を舞台とした信頼と連携の「コミュニティ活動支援型地域 SNS」サイトです。

福が咲く町！50周年諸行事を見事に完走しました！ ファイナルイベントを終え次の夢へスタート！

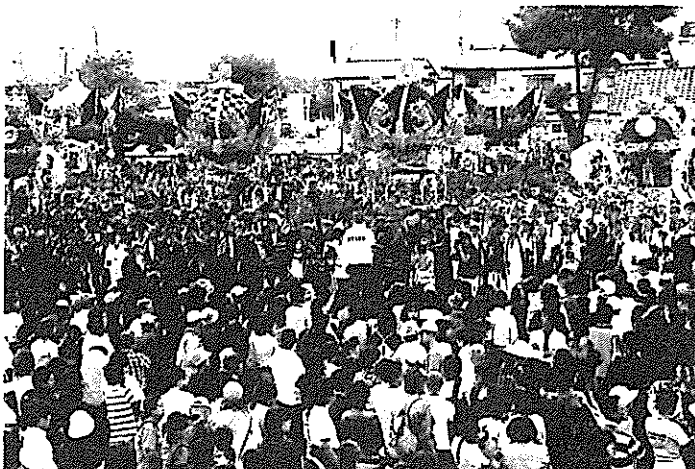
町民のみなさんの熱い思いのもと、数々の記念事業が行われてきましたが、10月のイベント「祭り屋台大集合」では町内各地から32台の屋台が田原小学校に集結し、各地区の太鼓のリズムは「町をあげて盛大に町制50周年を祝おう！」でした。

仕上げは3月4日(日)、田原小学校！

～ふくさき50 ゆめ広場～

(福崎町制50周年記念ファイナルイベント)

10:30～ゆめ記録スタート！もちむぎ団子をつくりテーブルに並べ日本記録に挑戦！グループで、家族で、参加者の顔は「参加に意義あり」を実感しています。このお団子は後で食する豚汁に入れられるのですから自然と力が入ります。目標は50周年にちなみ50m！何と209mも出来ました。300人分のお団子出来上がり！



11:30～ゆめ文字スタート！みんなで人文字「ふくさき50」をつくり記念撮影です。カメラはラジコンヘリに！！司会者の「さあ！笑顔よ！笑顔」「は～い、もう一度笑顔よ～」の声にまぶしさをこらえ笑顔でポーズ！心一つにしてヘリを見上げました。出来上がった写真は正に人文字！どこに誰がいるのやら？あの「笑顔よ～」の呼びかけは何だった？でもみんなでヘリを見上げた思い出ができました。元気で参加できてよかったね！



町政50周年記念のキャッチコピーは『福が咲く町 福崎町 未来の夢も咲かそうよ』

この言葉の下、みんなが自ら参加し心一つになれました。「町制50周年記念事業計画実行委員会」のみなさんをはじめ多くのボランティアもイベントを支えました。

次なる50周年へ夢をつないで見事に完走しました。町外からも多くのみなさんが各種イベントに参加して下さいました。ありがとう！ありがとう！さあ 次へのスタート！

さて、福崎の未来像は？自律(立)の町の町民は自らも自律(立)していなければならないと思います。町長のお言葉を拝借致します。「自分も大切にすることが他人も大切にして行動する、こんな人が一人でも多くなるように」「人々の命、くらし、人権」を守りながらすすめたいと励んでおられます。呼びかけていきたいとおっしゃっています。**みんなが笑顔になれる福崎町！**これは町民自身が目指すものと理解します。まだ、見ぬ命の為に励まねばならないと思います。孫の孫までもがこの福崎に住みたいと望むように！自然を守り、お互いを大切にしよう町民でありたいですね。

明るい未来へ！胸をはって進みましょう！

(応援隊 小國 冷子)

「中播磨キャンドルナイト」

キャンドルナイトとは、「電気を消して、スローな夜を」を合言葉に環境 NGO が呼びかけ始めた“夏至の日の夜8時から10時までの2時間、みんなで電気を消して、キャンドルを灯し、思い思いにゆったりした時間を過ごそう”という運動です。近年、全国的に広まったこの運動は、単に2時間電気を消して省エネを実践するだけではなく、キャンドルを灯してゆったりとした時間をつくり、地球環境について考えたり、現代社会のライフスタイルについて見つめ直してみようという運動にも広がっているそうです。

「中播磨キャンドルナイト」では、使用済みてんぷら油でつくった「キャンドル」を灯火し、資源とエネルギーの大切さを提唱し、エコキャンドルの炎で「火文字」の作成や星の観察会などが行われます。

どんな火文字が浮かび上がるかは、当日のお楽しみです。参加者みんなが、キャンドルの明かりの中、ある人は「省エネ」をある人は「平和」をまた、ある人は「??」を、そして世界のいろんな場所で生きる人びとを思いながら「スローな夜のひと時」を過ごしてみませんか？



(応援隊 溝口 章宏)

日	時	6月16日(土)19:30~21:00(雨天中止)
場	所	シロピア記念公園(姫路城北側)
お問合せ先		中播磨キャンドルナイト実行委員会事務局 (中播磨県民局県民生活部環境課内)



兵庫県立いえしま自然体験センター



長年親しまれてきた兵庫県立母と子の島が、瀬戸内海の豊かな自然環境の中での自らの体験を通して、自然環境の大切さを考え、学び、守るための行動につながる環境学習・自然体験活動のフィールドとして「兵庫県立いえしま自然体験センター」に生まれ変わりました。

新設された環境学習センターでの映像を使った体験学習やクリアカヌーなどを利用した海中観察が出来るようになりました。

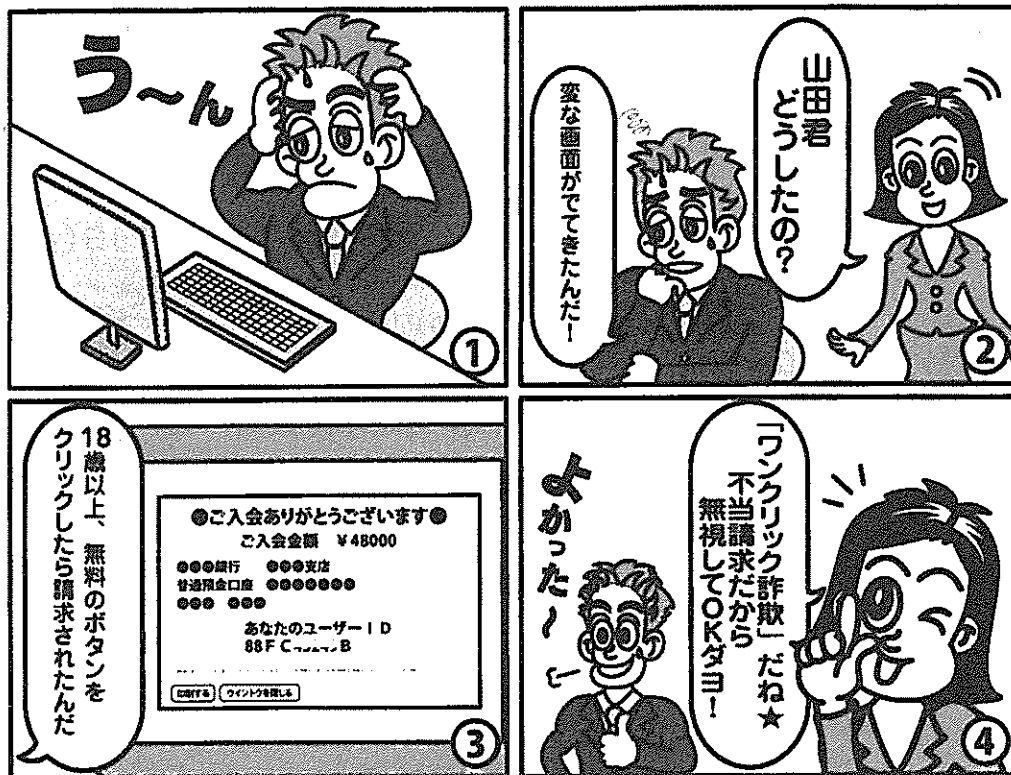
親子自然体験、親子ヨット教室、中学生を対象に無人島に生きるという事業等、多彩なプログラムを次々と企画しています。姫路港から客船で約35分、姫路市になって身近に感じられる家島町です。瀬戸内海の海原を渡り、ご家族お友達で一度お越し下さい。実施事業につきましては下記にお問い合わせ下さい。

〒672-0100 姫路市家島町西島

兵庫県立いえしま自然体験センター



★ ワンクリック詐欺に気をつけて! ★



はじめまして! 本業はフリーランスでグラフィックとweb デザインの仕事をしています。
 去年、実家のある姫路に帰ってきて、たくさんの方々に出会い、この町の役に立つような事がしたいと強く思うようになりました。今回「生活創造応援隊」の一員となれて大変光栄に思います! 自分に何ができるのか、未知の世界ですが、生活科学センターの相談事例をもとにイラストで生活創造しんぶん Wa'Wa'Wa'に参加することになりました。
 一生懸命頑張りますのでよろしく願いいたします。
 (新人応援隊 清角 和代)

～富子さんのゴマドレッシング～

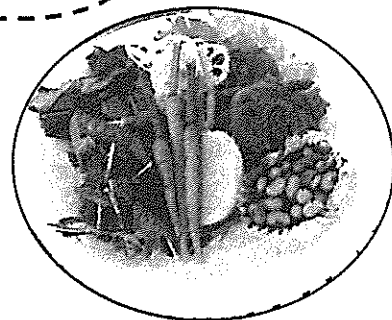
地産地消の食材を活かす会では講師に池田富子さんを迎え、夢前町(有)夢工房さんの採れたての新鮮野菜を生のまま、そして温野菜にして特製ゴマドレッシングでいただきました。

すごく美味しかったのでレシピをご紹介します(^^♪

《基本材料 約4人分》

ねり胡麻	大さじ2
白みそ	大さじ2
酢	大さじ2
みりん	大さじ2
だし汁	大さじ2
ねりわさび	少々
しょうゆ	適宜

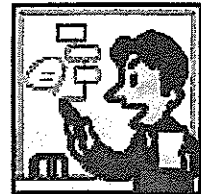
材料をボールに入れて混ぜてください。
 基本の材料でそれぞれの量を調節し、
 我が家の味を作り上げてみてくださいね!



生活創造大学 受講者募集

地域づくり活動に携わる人材を育成するため、「**地域と出会う 人と出会う 自分と出会う**」をメインテーマに、平成19年度の「**生活創造大学**」を行います。

- ★ 場 所 兵庫県姫路生活科学センター
 - ★ 時 期 <前期>平成19年7月6日(金)、7月11日(水)、7月18日(水)
 - ★ 対 象 地域やテーマに関係する問題について学習意欲のある人
 - ★ 募集人員 30名(先着順、定員になり次第締め切ります)
 - ★ 受講料 1,800円(他に実習等による実費は受講生負担)
- * なお、受領した受講料は返還しません。



生活創造大学

《前期のカリキュラム》 ～食文化よる地域おこし～

月 日	時 間	学 習 テ ー マ	講 師 ・ 助 言 者
7/6 (金)	13:30 ～ 16:30	開 講 式	姫路生活科学センター 所長・職員
		オリエンテーション	
		(講義)「食によるまちおこしー姫路おでんー」	NPO法人 コムサロン21 理事長 前川 裕司
		質疑・講評	
7/11 (水)	9:00 ～ 16:30	(視察学習)(株)大阪ガス姫路ガスエネルギー館 ヤマサ蒲鉾(株)夢前工場	大阪ガス職員 特定農業生産法人 「有限会社 夢前夢工房」 代表取締役 衣笠 愛之
		(講義)「地産地消! “夢そば”特産化への歩み」	
7/18 (水)	9:30 ～ 14:30	(実習)「地産地消のふるさと料理を楽しもう」	姫路生活科学センター 所長・職員
		前期を振り返って	
		閉 講 式	

【生活創造大学のお申込み・お問い合わせ先】

〒 670-0092 姫路市新在家本町1-1-22

兵庫県姫路生活科学センター(担当 井上)

氏名(ふりがな)、住所、年齢、電話番号を明記し、7月2日(月)までに、はがき、FAX、または電話でお申し込みください。

☆ センターのご相談窓口をご利用いただける時間 ☆

利 用 時 間 消費生活のご相談 9:00～12:00 12:45～16:00
休 館 日 土曜・日曜・祝祭日・年末年始

「生活創造しんぶんWa' Wa' Wa'」の取材、編集、発行に奔走する『生活創造応援隊』に5人の新人応援隊が参加されました！それぞれの方の趣味や興味や特技がしんぶん作りを盛り上げて下さることでしょう。お楽しみに！！！！

しんぶんについてのお便り・お問い合わせ
姫路市新在家本町1丁目1番22号
兵庫県姫路生活科学センター
生活創造活動コーディネーター 玉田